

直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

令和5年9月25日時点

開催日時	開催形式(場所)	名称
10月9日(月) 14:00~17:00	大正大学品川キャンパス	公開シンポジウム「災禍の時代の社会学」
10月25日(水) 13:15~14:15 10月26日(木) 14:30~17:30 10月27日(金) 13:30~14:30	講堂、会議室 (5-A、5-C、6-A)	公開シンポジウム「第10回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム(JCOSSAR2023)」
10月28日(土) 13:00~17:00	ハイブリッド開催 (一橋大学)	公開シンポジウム「歴史教育シンポジウム(「歴史総合」をめぐって(7)ー「歴史総合」の授業と教員養成を検討する)」

※諸般の事情により、内容等に変更が生じる可能性がありますので、学術フォーラム・公開シンポジウム等の参加前には日本学術会議ホームページを御確認ください。

日本学術会議社会学委員会・社会理論分科会・日本社会学会  
公開シンポジウム

**災禍の時代の社会学**

2023年10月9日 14:00～17:00 どなたも無料で参加可能です  
於・立正大学品川キャンパス9号館9B21教室（東京都品川区大崎4-2-16）

2000年代に入って、私たちは驚くべき災禍をいくつも経験してきました。たとえば、2001年9月11日アメリカ同時多発テロ、2011年3月11日東日本大震災と福島原発事故、2019年末に始まった新型コロナウイルスの感染拡大。さらに、2022年2月、ロシアがウクライナ侵攻を開始しました。このような災禍の時代、私たちはどのように世界に対する信頼を取り戻せるでしょうか。本シンポジウムは、孤立を超えて連帯する未来社会を、多くの参加者とともに展望しようとするものです。

14:00-14:10 開会の挨拶&開催趣旨&総合司会

遠藤薫（日本学術会議連携会員、学習院大学名誉教授）

14:10-15:40 講演

「新しい介入主義に市民社会はどう対峙するか」

町村敬志（日本学術会議連携会員、一橋大学名誉教授）

「〈生〉を包摂する社会へのケアとジェンダーの視点から」

落合 恵美子（日本学術会議連携会員、京都大学名誉教授）

「民主主義の二つのかたち—自利から利他へ」

渡邊雅子（日本学術会議連携会員、名古屋大学教授）

「災禍の時代と教育政策」

中村高康（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

「災禍の時代と自殺問題」

江頭大蔵（日本学術会議連携会員、広島大学教授）

15:40-16:50 全体討論

討論司会：有田伸（日本学術会議第一部会員、東京大学教授）

園田茂人（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

閉会の挨拶：山田真茂留（日本学術会議連携会員、早稲田大学教授）



# 公開シンポジウム

## 第10回構造物の安全性・信頼性に関する 国内シンポジウム(JCOSSAR2023)



主催：日本学術会議土木工学・建築学委員会

日時：2023年10月25日(水)～27日(金)

会場：日本学術会議

### 基調講演

10月25日(水) 13:15～14:15

Epistemic Uncertainties in Engineering; Modeling and Efficient Analysis

Prof. Michael BEER (Leibniz University Hannover, Germany)

10月27日(金) 13:30～14:30

空の移動革命への挑戦 ～日本発空飛ぶクルマと物流ドローンの開発～  
岸 信夫(株式会社SkyDrive, 取締役最高技術責任者)

### パネルディスカッション

10月26日(木) 14:30～17:30

カーボンニュートラル, Covid-19などの新たな課題に直面する時代  
におけるリスクコミュニケーションの重要性

(パネリスト)

岡部 知行 (特定非営利法人 リスク共生社会推進センター)

牧 紀男 (京都大学防災研究所)

東畑 郁夫 (関東学院大学)

山田 博幸 (一般財団法人電力中央研究所)

小野 敏雄 (ボーイングジャパン株式会社)

倉敷 哲生 (大阪大学)

浅野 均 (戸田建設株式会社)

### 一般講演

15のオーガナイズドセッションにて、合計121件の講演を予定

### 参加方法

参加は無料ですが、下記のホームページからの事前参加申込が必要です。

<https://www.jcossar2023.jp/>

### 問い合わせ先

JCOSSAR2023運営委員会 : jcossar2023@ml-jsce.jp

歴史教育シンポジウム：歴史総合をめぐる(7)

# 「歴史総合」の授業と教員養成を検討する

2023年10月28日(土曜日) 午後1時～5時

ハイブリッド開催 対面会場：一橋大学(東キャンパス) 東2号館 2201教室

このシンポジウムでは「歴史総合」についてすでに6回検討してきた。歴史総合は2022年4月から授業が始まり1年以上が経過した。授業構想ではなく実際に授業を実施して、歴史教育の新しい側面の発見や逆に授業の困難も幾つか報告されている。今回は歴史総合が必修科目である点に注目して企画した。歴史総合が学校教育で最後の歴史の授業になるかも知れない生徒に授業を行っている教員などに報告を依頼してみた。また、歴史総合や探究科目は、新しい試みであるために多くの現職教員は大学でその訓練を受けていない。これから教員になる大学生にどのような歴史教育を行っていくかを考えてみる必要があるだろう。3つの報告は、歴史教育の今後を考える貴重な素材を提供すると期待している。

## プログラム

開会挨拶 若尾政希 一橋大学教授・日本学術会議会員(第24, 25期)・日本歴史学協会委員長  
趣旨説明 君島和彦 東京学芸大学名誉教授・日本学術会議連携会員(第24, 25期)  
司会 高澤紀恵 法政大学教授・日本学術会議連携会員  
鈴木 茂 名古屋外国語大学教授・日本学術会議連携会員

### 報告

**吉嶺茂樹** 札幌日本大学高等学校教諭

**必修科目としての歴史総合ー通信制、遠隔授業、そして普通科の高校で**

**井本幸輝** 山口県立宇部西高等学校教諭

**地域教材を活用した歴史総合の実践(仮)**

**小嶋茂稔** 東京学芸大学副学長・日本学術会議連携会員

**『歴史総合・探究』の時代の歴史の教員養成のあり方をめぐって(仮)**

コメント 松本直子 岡山大学文明動態学研究所所長・日本学術会議連携会員

閉会挨拶 栗田禎子 千葉大学教授・日本学術会議会員(第24, 25期)

※参加ご希望の方は下記URL・右QRコードよりお申し込み下さい(〆切10月27日)。

※オンライン参加のみなさまには、開催当日までに接続先の情報などをお知らせいたします。対面参加の場合にも、会場準備の都合がございますので、かならず事前にご登録ください。

<https://forms.gle/8vs9jYDD6UsYBjlm6>

※対面会場アクセス：下記URL・右URLコードで表示される地図31番の建物です。

<https://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/index.html>

